（中国丙01）
インフルエンザ
発生推移
＝ 2023年2月度 ＝

発表：2023年03月28日天津CDC

作成：2023年04月02日
日中医療衛生情報研究所

インフルエンザの分類について

- ここには一般の季節性インフルエンザと
（2013年11月分以後の）H1N1型が含まれている。
- 中国でしか感染者が出ていない
H5N6や、
H9N2の患者については、

界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、
「その他感染症」に分類されていることが判明しました
⇒　https://www.jiemian.com/article/5659382.html
の最終パラグラフご参照ください。

インフルエンザの特徴

2008年からこれまでを振り返ってみると、

　年間4万人（2009年）から350万人（2019年）までと振幅が大

コロナとインフルエンザの関係についての疑問:

　　2019年12月は1,199,771人

　　2020年01月は　986,543人

この2か月連続100万人という状況を、

衛生当局は検査体制の向上によると主張。

これに対し

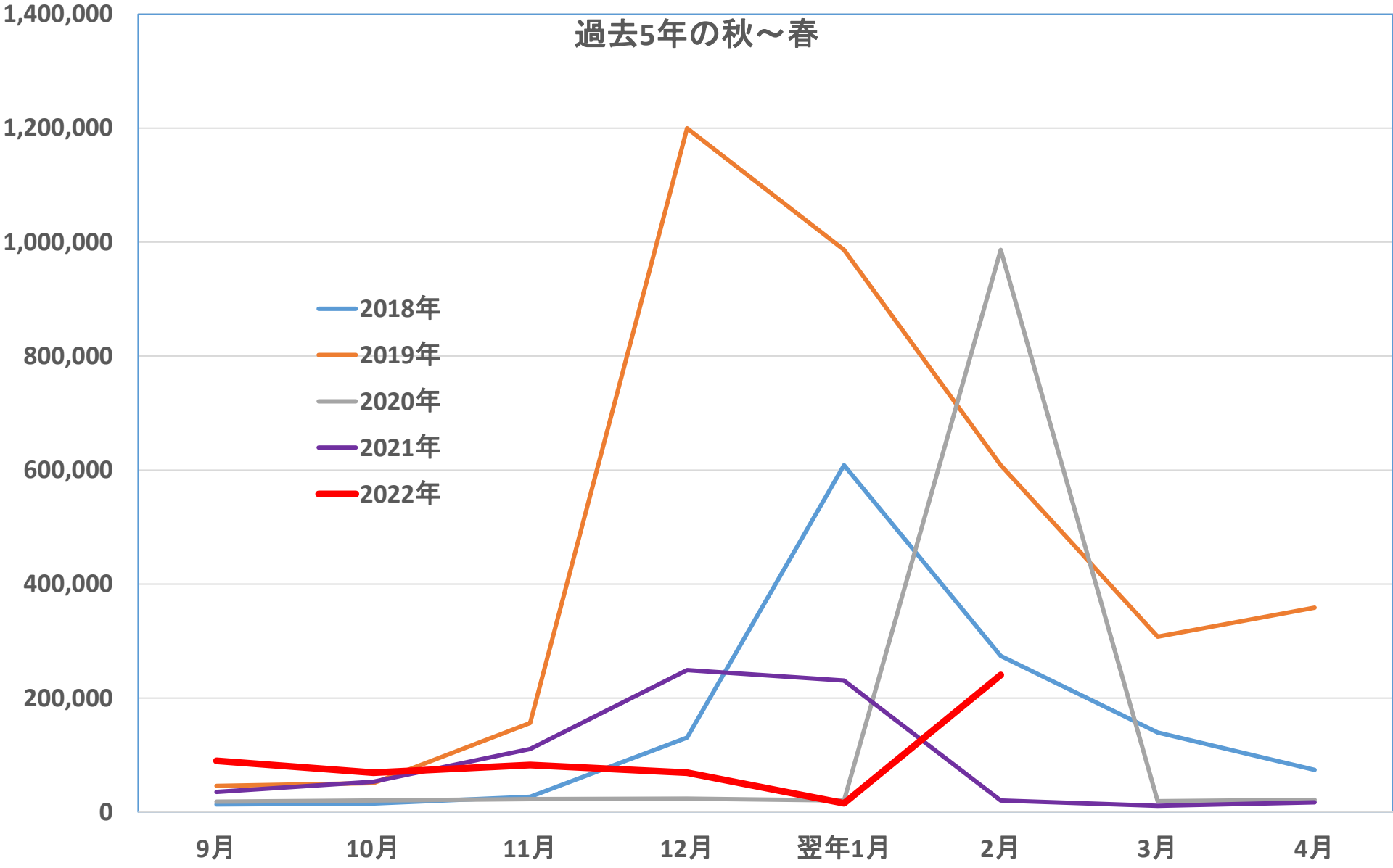
　　2020年12月は　23,546人

　　2021年01月は　20,232人 となった

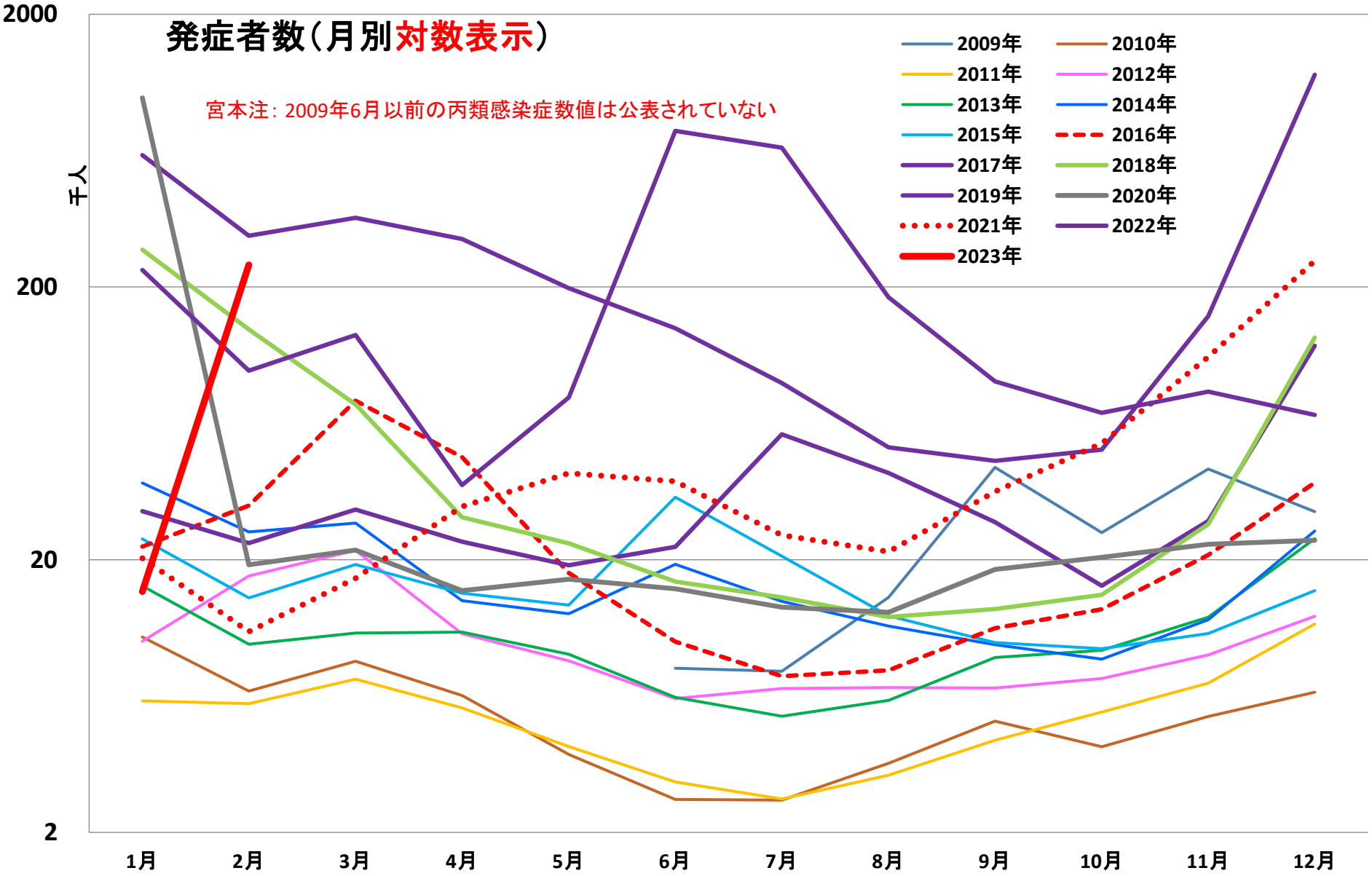
謎が一層深まる数字が飛び出した感じ:

’19年末の急増にコロナ患者が含まれていたのでは？…

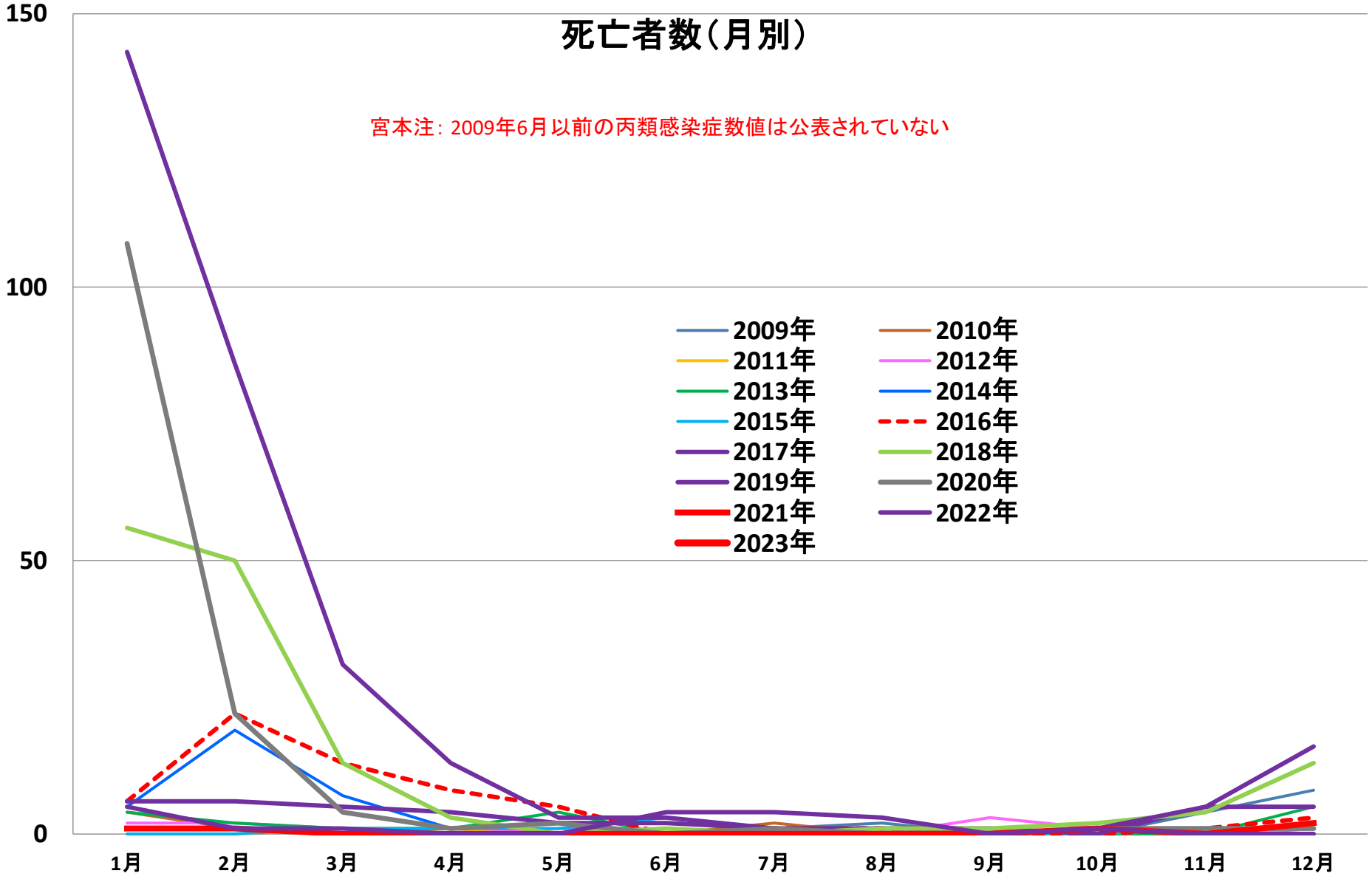
丙01: インフルエンザ発症者数（秋～春）



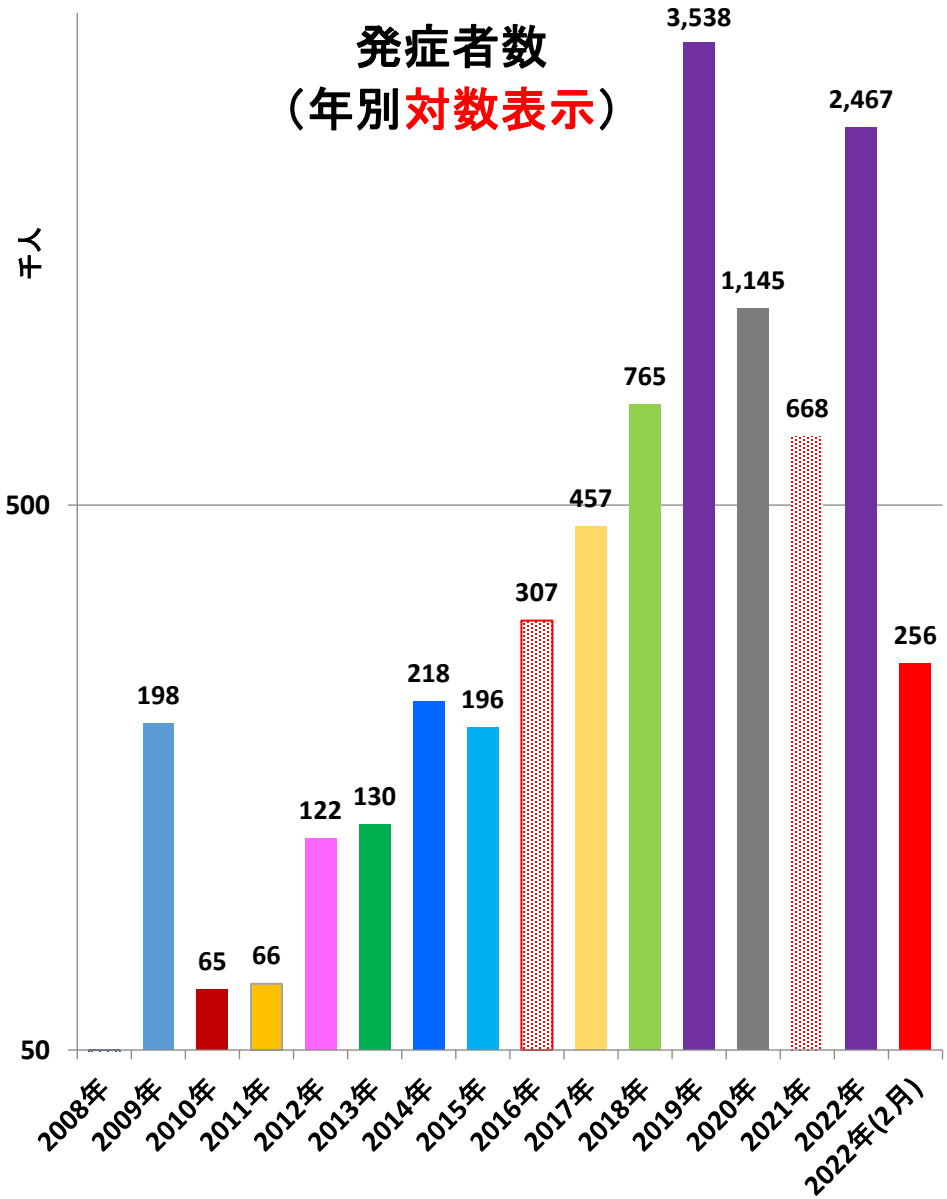
丙01: インフルエンザ発症者数

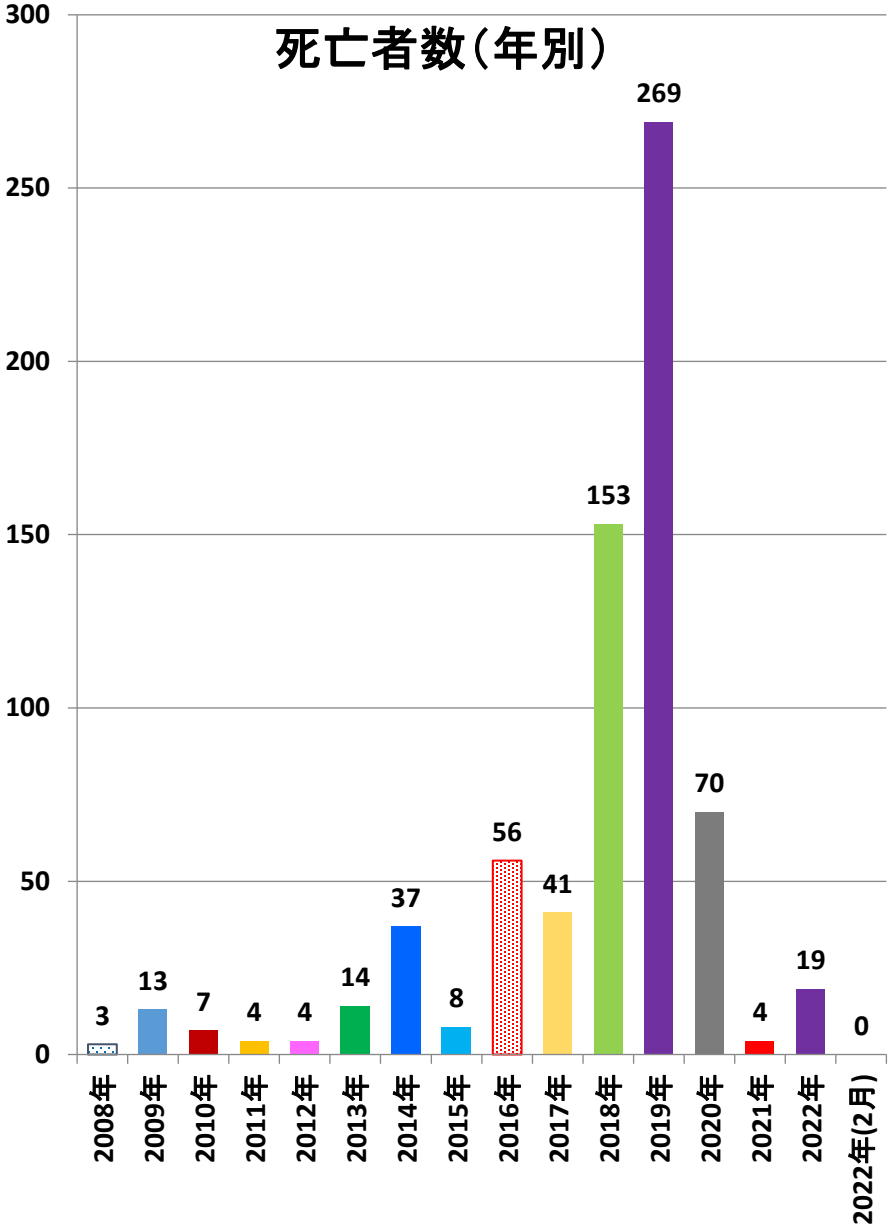


丙01: インフルエンザ死者数



丙01: インフルエンザ


発症者数
（年別対数表示）
千人
500
50
198
65
66
122
130
218
196
307
457
765
3,538
1,145
668
2,467
256
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年
2022年(2月)


死亡者数（年別）
300
250
200
150
100
50
0
3
13
7
4
4
14
37
8
56
41
153
269
70
4
19
0
2008年
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
2020年
2021年
2022年
2022年(2月)